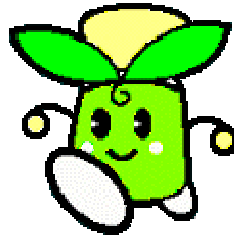


雑 桜 (わかざくら)

～南中校長室より～

平成 29 年度 NO. 7

平成 29 年 10 月 2 日



Be Proud Of Us

2 学期になり、一か月たちますが、落ち着いた雰囲気の中で、学習や部活動に取り組んでいます。「笑顔で挨拶」「読書で心の栄養補給」「家庭学習で学力アップ」「ほめてほめられ BE PROUD OF US」「地域行事に LET'S GO」という南中 5 つの約束の実現のため、着実な生活をしていただいていると思います。9 月 22 日【金】には文化発表会があり沢山の保護者や地域の方々に参観していただきました 10 月 7 日【土】には体育大会があります。様々な行事の中で、友達のよさや特徴、個性を知り、互いに大切にしたい、真に楽しいと思える学校にしていきたいと思っています。

～南中祭～ 今年のスローガンは、「一致団結」(We are the best team) です。Team は「南中の生徒だけでなく教師、保護者、地域」を意味します。

○ 舞台発表

吹奏楽部のオープニング演奏。楽しい演出を入れながら、すばらしい音色を聞かせていただきました。教師も参加させていただきましたが「教育」は本来、「共育」することによって生徒の心をうつ「響育」につなげていくべきものだと思います。これからも「共育」と「響育」に力を注いでいきたいと思っています。「ユニセフの活動から学ぶ」「沖縄の心」「これぞ 南中ソーラン」「ガマの中で」、そしてハイビスカスとジンベイざめを描いた「モザイクアート」の紹介とそれぞれ努力の成果が見られました。特に、「ガマの中で」はさすが3 年生とうならせられました。

○ 展示発表

非常にレベルの高さを感じました。残念ながら、時間が少なく、すべてをじっくりと見ることができませんでしたが、日々の学習の成果が出ていました。「我以外皆教師」と言います。私自身、本当に学ぶことがたくさんありました。そして、生徒たちの「無限の可能性」を再認識し、すごいなあと感じました。また、例年のお茶会、図書館クイズラリー、剣道試技等にも多くの参加者がありました。

3 年生、進路に向けて (9 月 26 日)

26 日に「校内実力テスト」が行われました。進路決定に向け、大切な時期になってきました。その時々結果に一喜一憂するかもしれませんが、希望する高校に行けるか、かなり点数にこだわるかもしれません。最終的には、私たち教師は、その生徒の特徴や・「良さ」が生かされ、将来に向けての成長度をも考えて、保護者や生徒と向き合っていくことが大切だと考えています。今回、うまくいかなかった生徒も、最後まで、目標に向かって頑張れるような努力が継続できるように、各家庭でも支えてあげてください。なお、「学校説明会」や「体験入学会」には積極的に参加し、直接、肌で学校の雰囲気を知ることは大切です。また、奨学金制度をはじめ、不安や疑問に思われることがあれば、遠慮せずに学校までお問い合わせください。(奨学金制度を利用すれば、私立高校への進学も全く、あきらめたものではありません。)

学校カウンセラーの予定 (10 月)

岸田カウンセラー 6 日(金) 13 日(金) 20 日(金) 27 日(金)

川端カウンセラー 3 日(火) 17 日(火)

「全国学力・学習状況調査」の結果を元に本校の課題を探り、 今後の教育活動に取り組んでいきたいと思っています。(3年生 4月18日実施)

	質問項目	南中	奈良県	全国	備考
4	物事を最後までやり遂げてうれしかったことがありますか	92.6	93.7	94.7	
5	難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか	76.1	68.9	71	
6	自分には良いところがあると思いますか	64.2	66.7	70.7	
10	将来の夢や目標を持っていますか	70.2	68.8	70.5	
15	学校の授業以外に普段、1日どのくらいの時間勉強しますか。(塾、家庭教師を含む)	71.7	73	69.6	1時間以上
17	学習塾に通っていますか	65.7	74.4	61.5	
18	学校の授業以外に普段、1日どのくらいの時間読書しますか。	23.9	24.9	29.2	30分以上
27	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	43.3	50	50.6	
30	家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか	86.6	77	84.1	
31	自分で計画を立てて勉強していますか	52.2	48.9	50.5	
34	家で、学校の授業の復習をしていますか	35.8	40.7	50.7	
35	学校に行くのは楽しいと思いますか	73.1	79.5	80.9	
40	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	67.2	76.2	80.4	
42	今住んでいる地域の行事に参加していますか	59.3	35.7	42.1	
51	学校の規則を守っていますか	95.6	93.6	95.2	
54	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	92.5	91.6	92.8	
55	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.6	90.9	91.9	
74	読書は好きですか	56.7	63.5	69.9	

肯定的な答え上位2項目の合計ポイント

小数点は四捨五入

国語 A 主として知識に関する問題			
全国	奈良県	生駒市	秋田県
77.0	78.0	82.0	82.0
国語 B 主として活用に関する問題			
全国	奈良県	生駒市	秋田県
72.0	72.0	77.0	78.0
数学 A 主として知識に関する問題			
全国	奈良県	生駒市	秋田県
65.0	65.0	71.0	68.0
数学 B 主として活用に関する問題			
全国	奈良県	生駒市	秋田県
48.0	48.0	53.0	52.0

子どもに自信をつけさせる！ 目標の立て方

子どものやる気に火をつけたいと学習やスポーツにおいて「目標」を立てさせている保護者のかたも多いと思います。ただ、目標設定に失敗してしまうと、子どもの意欲をかえって低下させてしまうこともあるそうです。

学習やスポーツなどの活動において、子どもに目標を立てさせるのは、モチベーションを高めるためにとっても有効な方法です。ただ、目標を立てたからといって、それ自体が子どものモチベーションを高めるわけではありません。自分が立てた目標が達成できたとき初めて、「自分はがんばればできるんだ」という自己有能感が高まり、活動へのモチベーションとなるのです。反対に、目標設定に失敗し、目標を達成することができなければ、自己有能感が喪失し、モチベーションを高めるどころか、かえって子どもの意欲を低下させる可能性もあります。

子どものやる気を高めたいのであれば、子どもが達成できそうな目標を立てることが大切です。時として子どもは自分の能力を正しく把握していませんから、自分の能力に見合わない大きな目標を掲げてしまうこともあると思います。その場合は、達成できそうな目標を具体的に提案してあげるようにしましょう。たとえば「〇〇高校に行く」ことが目標なら、「英単語を毎日50個覚える」「1日3時間勉強する」などその子どもにとってちょっとがんばればできそうな目標を提案してあげるのです。小さな目標を達成して自信をたくさんつけさせることが、大きな目標を達成させるための第一歩になります。

<目標設定のポイント>

- ① 子どもの達成できそうな目標を立てる
- ② 具体的な数字や期間を入れた目標を立てる
- ③ 自分の能力によって達成できる目標を立てる
- ④ できれば複数の目標を立てる
- ⑤ 子どもと話し合ったうえで目標設定を

期待が人を成長させる!?! 「ピグマリオン効果」

「期待」。たとえば、教育場面で教師が生徒へかける期待というのがあります。

実は、人間は、そういったかけられた「期待」の通りに、成長の方向性が決まってしまうのです。これは「ピグマリオン効果」として説明されています。

「ピグマリオン効果」とは、アメリカの心理学者、ローゼンタール (Rosenthal, R.) が提唱した概念です。教育心理学の用語で、「教師期待効果」とも呼ばれます。教師の期待が生徒の成績の変化に影響を与えるというものです。これを明らかにした実験があります。

研究者らが、あるクラスに学習の潜在能力を測るテストを受けてもらった後、その結果とは無関係に生徒を数名選び出します。研究者らはその選びだした生徒を、担任の教師に「この生徒たちは成績が伸びる潜在能力を持っています」と伝えます。

この時、教師は実際の潜在能力テストの結果を知りません。

すると、「成績が伸びる」とされた生徒たちは、他のクラスメイトに比べて、実際に成績の伸びが良いという結果になったのです。

つまり、潜在能力の高い低いに関係なく、教師が「成績が伸びる」と思い込んだ生徒の成績がよく伸びたのです。

これは、ひとつは教師の期待が教授行動に影響を与えたことが要因だと考えられています。

つまり、教師が特定の生徒に期待をかけることが、その生徒に対する反応や声かけの数や質を増加させているとされているのです。

このように反応や声かけの増加を最良とも言われてしまいそうですが、教師としては無意識的にそれを行っているところが大きいように思われます。

